

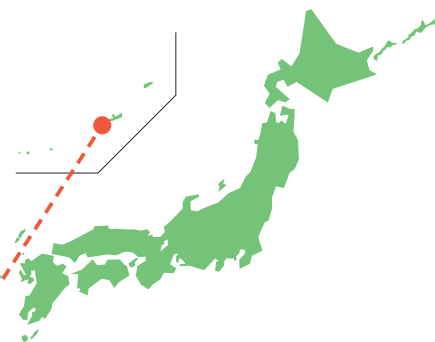
写真で見る

都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて
移り変わってきたまちの姿。
今と昔を写真とともに振り返ります。

いとまん
糸満市 (沖縄県)



令和
4年
(2022年)

まちと調和する糸満ロータリー
ラウンドアバウト



企画部 秘書防災課
秘書・広報係
たましろひろかず
玉城弘一さん

時代に合わせて進化する交通の要所 糸満ロータリー

「糸満ロータリー」は、沖縄本島南部の交通要所に位置し、戦後復興期には、信号に頼らず多くの車をさばけるロータリーとして活躍しました。

その後、車社会の到来により、七つの信号機を要する交差点に改良されましたが、環境負荷軽減と災害に強いまちづくりを目指し、平成27年には現在のラウンドアバウト（信号機のない環状交差点）に移行しています。「糸満ロータリー」は、市が歩んだ時代の変遷を象徴しています。



昭和
51年
(1976年)

昭和53年7月30日、通称730（ナナサンマル）までは対面交通が右側通行